

★	小項目6.1.3	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。 (周知・公表の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 周知・公表している <input type="radio"/> 周知・公表していない (説明) 教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施の方針を教育学研究科履修心得に詳しく掲載すると共に、関西学院大学大学院案内に要点を掲載している。
	小項目6.1.4	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。 (検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない 研究科委員会で教育課程の編成について検討し、ゼミ（研究演習）の担当者の増員、新設科目を設けるなど改善を図っている。
	その他	

《評価指標データ》

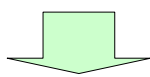
カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
必修・選択ごとの開設授業科目数
系列別卒業必要単位数

★ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	前期課程の研究演習について、学生の選択肢を広げるため、来年度以降の任用人事審査を行い、研究演習担当者を8名増員した。また、幼児教育学領域科目（選択）に新科目、「子どもの家庭福祉学特殊講義」を加えた。（意見交換後、削除。IV.追加記述参照）
その他	



《次年度に向けた方策(1)》伸長させるための方策

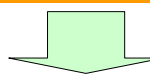
注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(2)》改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★ 小項目6.1.3	ホームページ掲載内容の再検討
小項目6.1.4	
その他	



《次年度に向けた方策(2)》改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★ 小項目6.1.3	ホームページ、および履修心得に教育学研究科の学位授与方針および教育課程についてよりわかりやすく掲載するため、その内容を、広報委員会、研究科委員会で検討する考えである。
小項目6.1.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他 (自由記述)	
--------------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

○小項目6.1.4の「現状の説明」は、カリキュラムに関する事なので、中項目6.2に配置するほうが適切と思われます。「効果が上がっている事項」の記述も同様です。

【学内委員】

○現状の学位授与の方針は、教育目標であり、どのような能力を獲得した学生に学位を授与するのかという観点で記述することが望まれます。

○学位授与の方針欄に記載の内容は養成する人間像です。学位授与の方針は、課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件（修了要件）等を明確にしたものであり、理念・目的を踏まえ、設定されているものです。方針に関し追加記述を求めます。

○小項目6.1.1の（方針）には、学位授与方針そのものを書いてください。現記述の内容は学位授与方針ではありません。大学基準協会の留意すべき事項を参照してください。

○小項目6.1.2では、方針の概略を示してください。

○小項目6.1.3では、大学基準協会の留意すべき事項にもあるように、ホームページによる公表を欠かすことが出来ません。すでに掲出されていると思いますが、この点についての説明が必要でしょう。

○昨年度、伸ばさせるための方策や改善方策で示されたことがどうなったか示す必要があるでしょう。そのことでPDCAサイクルが機能しているか確認できます。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目6.1.1

基盤評価：「課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件（卒業要件・修了要件）等を明確にした学位授与方針を、理念・目的を踏まえ、設定していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.2

基盤評価：「学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考え方をまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.3

基盤評価：「公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を周知・公表していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.4

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

《現状の説明》6.1.1の（学位授与方針）部分を下記のように修正。

（学位授与方針）前期課程においては、①2年以上の在学（休学期間は算入せず）、②必修科目「幼児教育学演習」もしくは「臨床教育学研究演習」8単位と選択科目24単位の合計32単位以上を修得、③修士論文審査合格のすべての条件を満たした学生に、修士（教育学）の学位を授与する。後期課程においては、①3年以上の在学（休学期間は算入せず）、②必修科目「研究演習」12単位の修得、③博士論文審査合格のすべての条件を満たした学生に、博士（教育学）の学位を授与する。

《現状の説明》6.1.2の（学位授与方針）部分に下記のように追記。

研究科目である「幼児教育学研究演習」と「臨床教育学研究演習」以外はすべて選択科目であり、学生が幼児教育学領域と臨床教育学領域の授業科目を幅広く履修することができるよう編成されている。

★ 《現状の説明》6.1.3に下記のように追記。

（説明）教育学研究科のホームページ上にも掲載することを検討中である。

《現状の説明》6.1.4に下記のように追記。

また、実施方針についてもその適切性を検討している。

学内第三者評価を受けて、効果が上がっている事項6.1.4の記述をすべて削除する。

改善すべき事項6.1.3を下記のように修正。

ホームページの内容については、昨年度からの検討事項であるが、まだ改善することができていない。